２００６年矢作川源流祭（仮称）

実施計画（案）

１、目的および宣言（案）	１、矢作川の中下流の人々は川の恵みと上流の人々の努力に感謝します。 ２、矢作川を生き物がいっぱいいる豊かな清流にするためにみんなで力を合わせてがんばります。
２、参加条件	目的宣言（案）の趣旨に賛成の人。年齢性別および国籍を問わない。
３、実施日	２００６年度休日。春・夏小中高学校休み、五月連休、お盆休みなど。 ２日間に及ぶこともある。
４、主要な行事	参加者全員が矢作川の本流・支流の源流付近で川水を採取し、河口の矢作川大橋中央付近または河口の海岸から放水する。代理もありうる。 実行委員会方式の実施になれば源流に相応しい行事を詳細に計画。各自自由参加であれば自主的に源流に相応しいもの。感謝の心が大切では。 取らない、汚さない、壊さない、騒がない、残さない。トイレに注意。
５、源流採水場所・容器	平谷村大川入山付近、根羽村茶臼山付近、旧作手村巴山付近および参加者が採水を希望する源流。軽くて運び易い容器。
６、源流集合時刻	現地集合。採水場所により任意。例えば平谷村大川入山付近では午前９時３０分。
７、出発時刻	採水場所により適宜。平谷村大川入山付近では午前１０時。
８、道中行事・昼食・走行経路	参加各自で計画・実施。出来るだけ川筋に沿って。 自動車への家族以外の同乗は重大事故の防止のため出来るだけ避ける。
９、河口集合時刻	午後３時までに適宜。
１０、河口集合場所	碧南市矢作川大橋右岸堤防上付近。
１１、放水形式	各自で適宜または参加者一斉どちらでも。
１２、報告記録集約	源流地名、参加人数・連絡先、行事実施経過、自主的実施計画など。
１３、行事終了時刻	最終午後３時３０分。現地解散。上流の方が明るい内に帰宅出来る時刻。
１４、当日	台風洪水大雨以外実施。順延すると連絡がむずかしい。参加中止も含め参加確認・連絡・行事進行状況の把握は当日も携帯電話で可能では。
１５、記録方法	カメラ、ビデオなど。後日公開。
１６、実施方式	１、実行委員会方式（指定日または指定期間内に同時実施）。 ２、各自自由参加方式（各自都合で適宜実施、終了報告だけでも集約したい）。 ３、折衷方式。
１７、後日反省会	
１８、その他	１、矢作川賛歌の作詞作曲。（優しくて簡単なみんなで歌える曲） ２、矢作川風景の写真展準備、写真集作成準備。

２００６年１月提案　調査資料「矢作川」発行者　くろやなぎよし